

令和 (2025) 7 年度	当初実施設計書					公益財団法人とちぎ建設技術センター						
	単 独	設 計 理 由	機械設備の機能維持のため本工事を要す			工期	令和8(2026)年3月10日限り		契約 方法	一般競争入札		
契 約 番 号			工 事 番 号	第 07-05-03 号	設計書番号							
工 事 名	大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2											
地 区 名	渡良瀬川下流流域下水道(大岩藤処理区)											
工 事 概 要												
<table><tr><th>工種名</th><th>数量</th><th>単位</th></tr><tr><td>常圧浮上濃縮機修繕工</td><td>1</td><td>式</td></tr></table>							工種名		数量	単位	常圧浮上濃縮機修繕工	1
工種名	数量	単位										
常圧浮上濃縮機修繕工	1	式										
週休二日制工事：受注者希望型							余裕期間制度：任意着手方式		単価地区			
									栃木土木事務所 管内			

数量総括表(設計書)

2ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
本工事費					
大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2					
機器費					
常圧浮上機構成機器					
サイクロ減速機	CVVM05-6170B-EPTL-1479	台		1	
第一段シャフトホルダー部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
第一段シャフト	SUS304	個		1	
第一段シャフトホルダ	SUS304	個		1	
スプロケット押え板	SUS304	個		2	
ドライベアリング	テフロンコート	個		1	
軸用C型止輪	φ 85 SUS304CSP	個		2	
穴用C型止輪	φ 70 SUS304CSP	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6008 40.68.15	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6007 35.62.14	個		1	
オイルシール	NBR AG2674E0 VC 50.65.6	個		1	
オイルシール	NBR AG2835E0 VC 50.65.6	個		1	
第一段入力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT14	個		1	
第一段出力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT28	個		1	

数量総括表(設計書)

3ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
緊張用シャフトホルダー部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
緊張用シャフト	SUS304	個		1	
緊張用シャフトホルダ	SUS304	個		1	
緊張スプロケット押え板	SUS304	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6904 20.37.9	個		2	
オイルシール	NBR AG1311A0 20.40.5	個		2	
緊張用スプロケット	SUS304 JIS#60 NT12	個		1	
第二段シャフトホルダー部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
第二段シャフト	SUS304	個		1	
第二段シャフトホルダ	SUS304	個		1	
第二段シャフト蓋	SUS304	個		1	
スプロケット押え板	SUS304	個		1	
穴用C型止輪	φ 55 SUS304CSP	個		4	
ベアリング	SUJ2 #16006 30.55.9	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6006 30.55.13	個		1	
オイルシール	NBR AG2079A0 VC 35.55.5	個		2	
オイルシール	NBR AE1676A0 VC 30.45.6	個		1	
第二段入力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT13	個		1	

数量総括表(設計書)

4ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
第二段出力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT30	個		1	
アイドリング部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
アイドリングシャフト	SUS304	個		1	
アイドリングシャフト押え板	SUS304	個		1	
穴用C型止輪	φ 60 SUS304CSP	個		1	
穴用C型止輪	φ 55 SUS304CSP	個		1	
ベアリング	SUJ2 #16006 30.55.9	個		2	
オイルシール	NBR AG2102E0 35.60.5	個		2	
オイルシール	NBR AG2079A0 35.55.5	個		2	
アイドリングスプロケット	SUS304 JIS#60 NT30	個		1	
K-1アタッチメント付きチェーン部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
掻き寄せプレート	CR	個		1	
掻き寄せプレート取付板	SUS304	個		1	
押え板	SUS304	個		1	
K-1アタッチメント付きチェーン	SUS304 JIS#60 74リンク/組	個		1	
混合装置構成機器					
サイクロ減速機	CNVM02-6095-51 0.2kW×400V×50Hz	台		1	
工場製作労務費					

数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
第一段シャフトホルダー部		組分		2	
緊張用シャフトホルダー部		組分		2	
第二段シャフトホルダー部		組分		2	
アイドリング部		組分		2	
K-1アタッチメント付きチェーン部		組分		2	
直接材料費					
材料費					
押しバネ		個		2	
中央チェーン		組		1	
増速チェーン		組		1	
ゴム板		個		2	
混合装置用部品					
シャフト	SUS304	本		1	
コーンパイプ	SUS304	枚		1	
軸受	MCナイロン	個		1	
本体パッキン	CR	枚		1	
カップリング	FC200	組		1	
パッキン	CR	枚		1	

数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
ピローブロック	FC200/SUJ2	個		1	
ピローブロック	FC200/SUJ2	個		1	
メカニカルシール	SUS316/カーボンF90R	個		1	
補助材料費					
補助材料費	率分	式		1	
労務費					
一般労務費					
設備機械工	現地分解作業・浮上装置	人			
普通作業員	現地分解作業・浮上装置	人			
電工	現地分解作業・浮上装置	人			
設備機械工	現地分解作業・混合装置	人			
普通作業員	現地分解作業・混合装置	人			
電工	現地分解作業・混合装置	人			
設備機械工	現地設置復旧作業・浮上装置	人			
普通作業員	現地設置復旧作業・浮上装置	人			
電工	現地設置復旧作業・浮上装置	人			
設備機械工	現地設置復旧作業・混合装置	人			
普通作業員	現地設置復旧作業・混合装置	人			

数量総括表(設計書)

7ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
電工	現地設置復旧作業・混合装置	人			
機械設備据付労務費					
機械設備据付工	現地分解作業・浮上装置	人			
機械設備据付工	現地分解作業・混合装置	人			
機械設備据付工	現地設置復旧作業・浮上装置	人			
機械設備据付工	現地設置復旧作業・混合装置	人			
複合工費					
現地補修塗装		式		1	
浮上装置内汚泥引抜・洗浄		式		1	
直接経費					
機械経費(率分)					
機械経費	率分	式		1	
機械経費(積上分)					
トラッククレーン	2t吊り	日		5	
仮設費					
仮設費(率分)					
仮設費	率分	式		1	
直接工事費計					

数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
間接工事費					
共通仮設費					
共通仮設費(率分)					
共通仮設費	率分	式		1	
準備費(積上分)					
産業廃棄物処分費	浮上装置分	式		1	
産業廃棄物処分費	混合装置分	式		1	
純工事費					
現場管理費					
現場管理費(率分)					
現場管理費	率分	式		1	
据付間接費					
据付間接費(率分)					
据付間接費	率分	式		1	
間接工事費計					
据付工事原価					
計(工事原価)					
一般管理費等					

数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
一般管理費等(率分)					
一般管理費等	率分	式		1	
契約保証費(率分)					
契約保証費	率分	式		1	
一般管理費等計					
工事価格計					
消費税・地方消費税額					
本工事費計					

特記仕様書

(大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2)

第1章 総 則

第1条 (適用)

- 1 この仕様書は、大岩藤浄化センター機械設備修繕工事その2に適用するもので、その実施にあたっては「栃木県土木工事共通仕様書」、「栃木県土木工事施工管理基準」、「機械設備工事標準仕様書」、「機械設備工事一般仕様書」、「電気設備工事一般仕様書」、「契約書」に準拠するとともに、本仕様書により施工するものとする。

ただし、本仕様書と共通仕様書が重複する条項で内容が一致しない場合は、本仕様書が優先する。

第2条 (対象設備及び工事場所)

対象設備及び工事場所は以下のとおり。

(1) 設備名

No.1 浮上濃縮機

(浮上装置、混合装置)

(2) 工事場所

大岩藤浄化センター 栃木県栃木市藤岡町藤岡4018

第3条 (安全管理)

- 1 請負者は、工事の実施にあたり栃木県土木工事等施工技術安全指針及び保安、公衆衛生等に関する諸法規を厳守するとともに工事の安全に留意し、災害、事故等の防止に努めなければならない。
- 2 工事計画に影響を与える事故及び人命に係わる事故、若しくは第三者に損害を与える事故が発生した時は、応急処置を講ずるとともに、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。

第4条 (提出書類)

- 1 請負者は、工事に先立ち「施工計画書(1部)」の提出するものとする。
- 2 請負者は、工事工程計画表、写真及び監督員が指示するものについて作成し提出するものとする。

第5条 (作業の確認等)

請負者は、原則として主要作業の各段階毎に、作業内容及び進捗状況を監督員に報告し、承諾を得たうえで次の作業に進むものとする。また、現地工事中は、週間工程表を前週末までに提出し、他の設備に影響がある作業が発生する場合は前もって監督員と検討するものとする。

第6条（損害の賠償等）

請負者は、浄化センターの土地、工作物等を使用する場合は、浄化センター管理者の承諾を得てから使用するものとする。なお、浄化センターの土地、工作物等を使用した場合は、原形に復旧するものとし、既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、請負者の責任において賠償するものとする。

第7条（資料の貸与）

請負者は、本工事实施に際して設備の資料等の貸与を受けたい時は、監督員に申し出て貸与を受けることができる。なお、貸与を受けた資料は、丁寧に扱い作業完了後速やかに返却するものとする。

第2章 工事範囲等

第8条（工事範囲）

本工事の範囲は、以下のとおりとする。

- （1）浮上濃縮機の現地分解
- （2）浮上濃縮機構成機器の現地据付、試運転・調整
- （3）交換部品の処分
- （4）その他、本工事目的のため必要なこと

第9条（交換部品及び材料）

本工事における交換機器及び材料については、発注者指定の規格・サイズのものを使用するものとし、変更が生じた場合は、監督員に報告し指示を受けるものとする。

第10条（工事要領）

- 1 工事は当センターで実施している日常業務に大きな影響を及ぼすことなく、速やかに完了させなければならない。
- 2 工事に従事する作業員は、経験を有する者でなければならない。
- 3 分解、組立等の作業は、手順よく確実にこなわなければならない。
- 4 部品等は、細心の注意を払い破損のないよう取り扱わなければならない。
- 5 据付に際しての消耗部品は、全て交換するものとする。
- 6 本工事の作業環境においては、「電離放射線障害防止規則」に基づき放射線対策を実施しなければならない管理区域はないが、今後の状況により放射線対策が必要な場合は、別途協議の上対応する。

第11条（材料検査）

本工事に使用する購入部品及び材料は、製造メーカーの品質証明書等で確認ができるものとし、監督員の承諾を得て使用するものとする。また、工事完了時は材料検査成績書を提出するものとする。

第 12 条（試運転試験）

工事完了後は、監督員立会いのうえ試運転試験を実施するものとし、所定の目的が達成されていなければならない。

第 13 条（完成検査）

完成検査は、所定の手続きを経て実施するものとし、その結果の合格をもって引渡しを完了するものとする。

共通特記仕様書

1. この共通特記仕様書は、公益財団法人とちぎ建設技術センターが発注する工事に係る工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行を図るものである。
2. 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
現場代理人の常駐義務の緩和及び専任の主任技術者の兼任等	○ 1 本工事は、現場代理人及び主任技術者の他工事との兼任は認めない。 ○ 交通量が多い現道上の工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。 ○ 急傾斜地での工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。 ○ 当該工事は_____であり、現場代理人が他の工事と兼任した場合、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障があるため、兼任は認めない。 ○ 理由: ● 2 本工事における現場代理人について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。ただし、作業工程上、受注者が安全管理や現場の運営・取締りなどの面で、現場代理人の常駐が必要と判断した間は、この限りではない。 (要件) (1) 他工事が、(公財)とちぎ建設技術センターが発注する同一土木事務所管内の工事で、それらの工事の特記仕様書に兼務が可能である旨明記されていること。 (2) 兼任できる箇所は2箇所までとし、本工事及び他工事の請負代金が5,000万円未満であること。 (3) 兼任する工事の請負代金が3,500万円以上の場合は、現場代理人が現場から不在となる間、現場の運営・取締りを行える者(以下「連絡員」という。)を選任し、常駐させられること。 ● 3 本工事における主任技術者(監理技術者は除く。)について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。 (要件) (1) 他工事が、(公財)とちぎ建設技術センターが発注する同一土木事務所管内の工事で、それらの工事の特記仕様書に兼任が可能である旨明記されていること。 (2) 兼任できる箇所は2箇所までとし、本工事及び他工事の請負代金が5,000万円未満であること。 ※なお、主任技術者を現場ごとに専任で置く必要がある工事は、「公共性のある工作物に関する重要な工事」で、「請負金額が3,500万円以上」の工事をいう。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条) また、発注者から直接請け負った工事のうち4,000万円(※土木工事の場合)以上を下請負契約して工事を施工するときは、主任技術者に代えて「監理技術者」を専任で置かなければならない。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第2条) ● 4 現場代理人と主任技術者等の兼務は可能である。 ● 5 受注者は、現場代理人又は主任技術者を他工事と兼任したい場合は、「工事打合せ簿」により承諾を受け、他工事の「現場代理人及び主任技術者等(選任・変更)通知書」の提出の際に、当該工事打合せの写しを添付すること。また、連絡員についても、他の工事の上記通知書の提出の際に、その氏名等を届け出ること。
施工箇所が点在する工事	○ 施工箇所が点在する工事 1 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、『流域下水道』(施工箇所)、『流域下水道』(施工箇所)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算」を準用する工事である。 2 本工事における共通仮設費の金額は、対象地区ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。 なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(施工地域等)については、対象地区ごとに設定する。

共通特記仕様書

1. この共通特記仕様書は、公益財団法人とちぎ建設技術センターが発注する工事に係る工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行を図るものである。

2. 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
余裕期間設定工事	● 本工事は、余裕期間設定工事である。 次に示す余裕期間設定工実施要領のほか、以下の事項を参考とすること。 実施要領URL(県HP) https://www.pref.tochigi.lg.jp/h01/pref/nyuusatsu/koukyou/documents/20250325142051.pdf 1 主任技術者又は監理技術者の専任期間等 (1)契約締結日の翌日から工事着手日の前日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要さない。 (2)工事着手日から工事目的物引渡し日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要する。 (3)工事着手日から現場着手日の前日までの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。 (4)事務手続き及び後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。 (5)工事完成後、工事目的物の引渡し日までの期間については、原則、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。 2 工期 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限日までの間(工事着手ができない期間を除く)で、受注者は工事着手日を任意に設定することができる。 なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、余裕期間設定工事行要領で定める「工事着手通知書(別記様式)」により、発注者へ工事着手日を通知すること。 余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置は要さない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことはできるが、測量、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行うことはできない。 なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責任により行うことになる。 工事着手期限: 契約締結日の翌日から起算して30日を経過する日の翌日まで 3 CORINSへの登録(栃木県土木工事共通仕様書 1-1-5CORINSへの登録) CORINSへの登録は、契約後10日以内(土日祝日を除く。)に行うこと。 また、技術者の従事期間は、実工期の期間(契約書に記載されている工期)をもって登録すること。(余裕期間を含まないことに留意する。)
週休2日制工事	○ 1 本工事は「栃木県県土整備部週休2日制工実施要領」に基づく工事である。(発注者指定型) ● 2 本工事は「栃木県県土整備部週休2日制工実施要領」に定める受注者の希望により週休2日制工事が実施できる工事である。(受注者希望型) 要領URL: 県HP https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/pref/shuukyuu/documents/20241129113837.pdf

位置図 1:50,000



計画諸元

項目	全体計画	事業計画
1. 目標年次	平成38年	平成33年
2. 処理面積	1,801ha	1,263ha
3. 処理人口	40,570人	34,000人
4. 排除方式	分流式(汚水)	分流式(汚水)
5. 処理水量	22,700m ³ /日	17,360m ³ /日

大岩藤浄化センター
一般平面図
縮尺：1/600

小型車
出入りルート

施工場所
汚泥処理棟

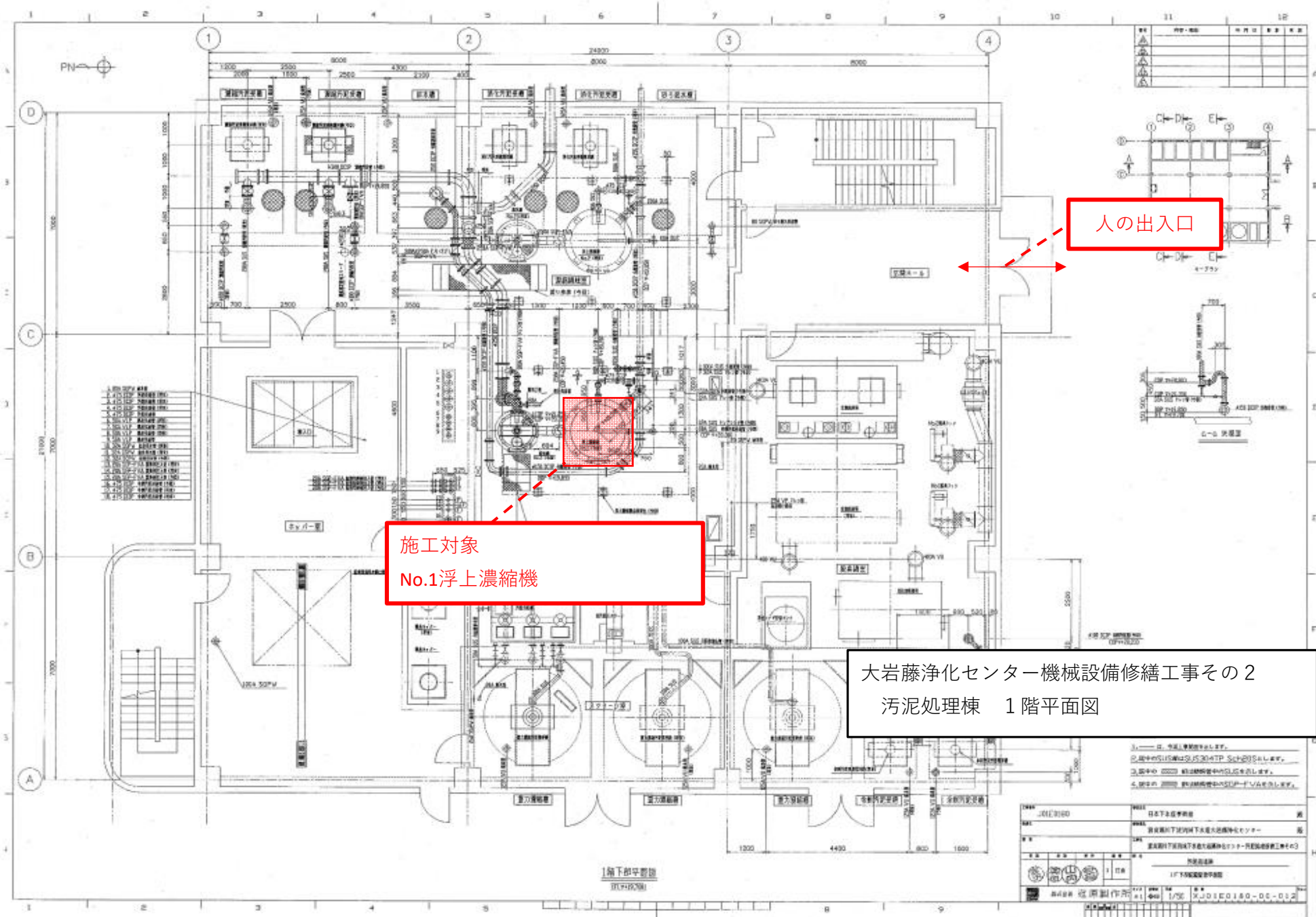
管理棟
(連絡先)

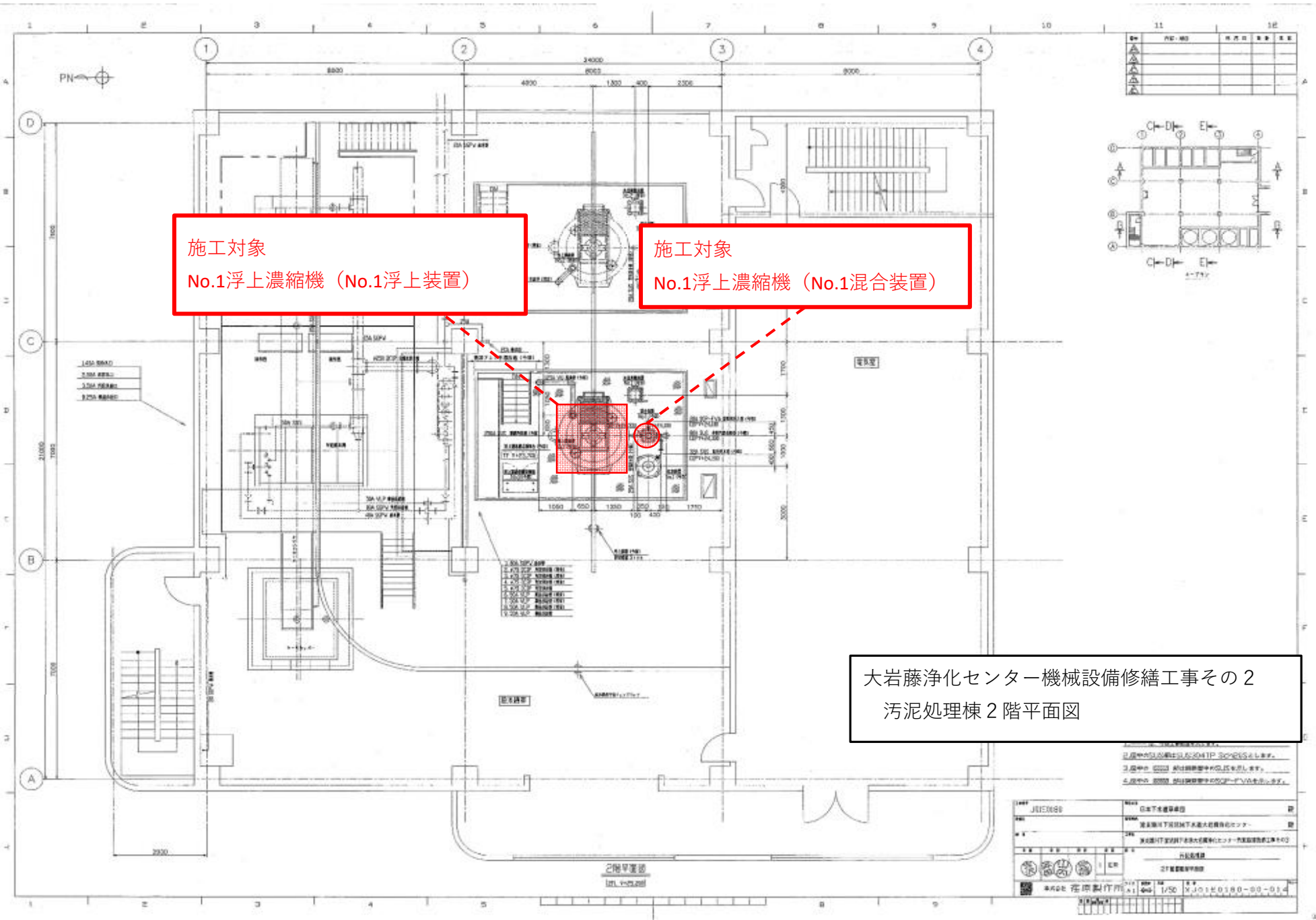
大型車
出入りルート



案内図

大岩藤浄化センター機械設備修繕工事その2
場内平面図





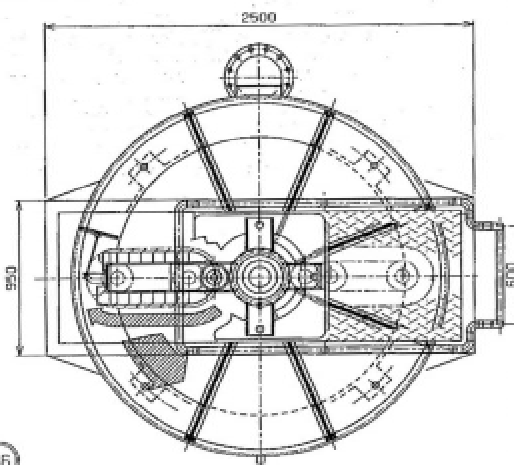
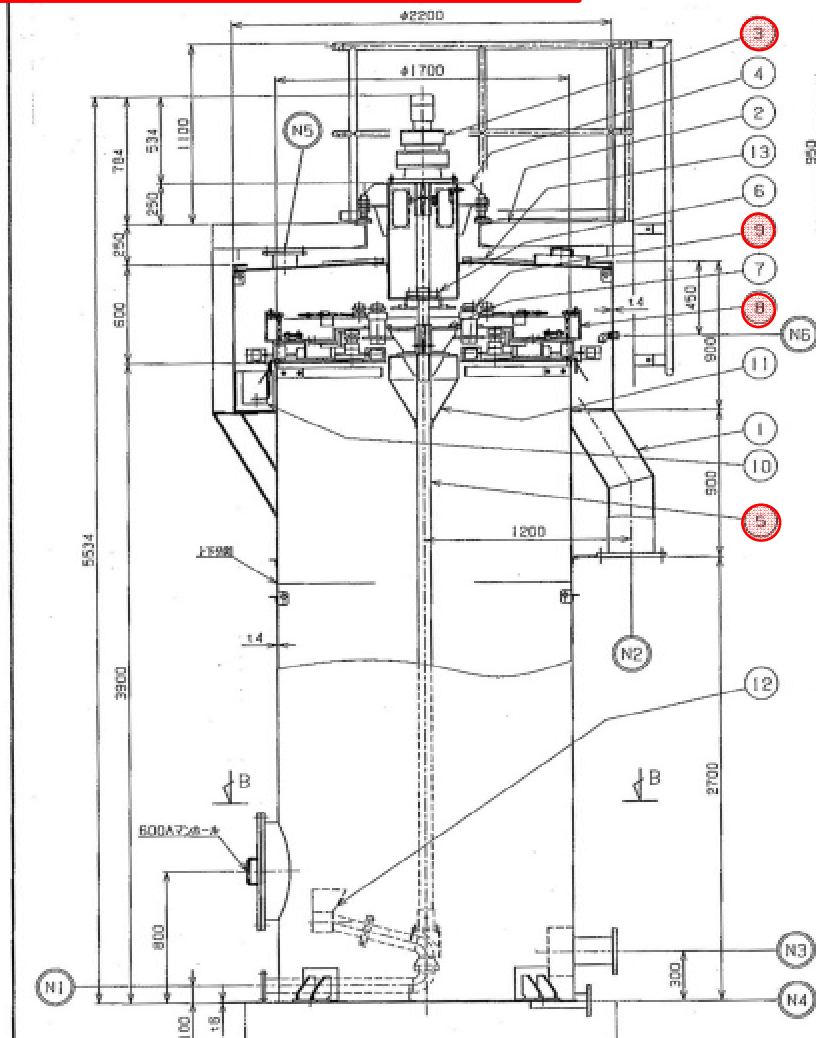
施工対象
No.1浮上濃縮機 (No.1浮上装置)

施工対象
No.1浮上濃縮機 (No.1混合装置)

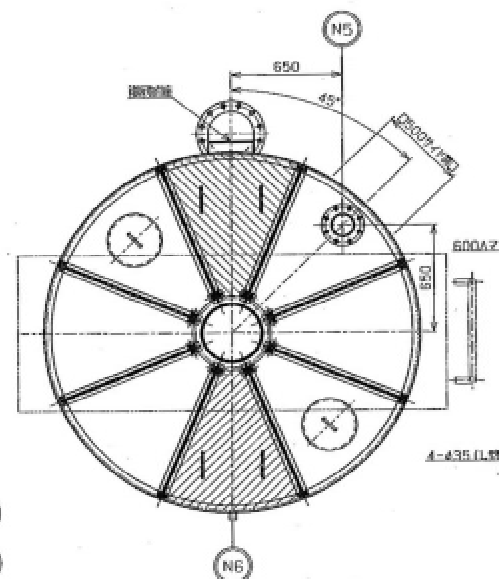
大岩藤浄化センター機械設備修繕工事その2
汚泥処理棟2階平面図

図名	汚泥処理棟2階平面図	図番	01
設計	大岩藤建設株式会社	監理	大岩藤建設株式会社
作成	大岩藤建設株式会社	承認	大岩藤建設株式会社
日付	2018.08.01	スケール	1/50
図例	○ 浮上濃縮機 (No.1) ○ 浮上濃縮機 (No.2) ○ 浮上濃縮機 (No.3) ○ 浮上濃縮機 (No.4) ○ 浮上濃縮機 (No.5) ○ 浮上濃縮機 (No.6) ○ 浮上濃縮機 (No.7) ○ 浮上濃縮機 (No.8) ○ 浮上濃縮機 (No.9) ○ 浮上濃縮機 (No.10) ○ 浮上濃縮機 (No.11) ○ 浮上濃縮機 (No.12) ○ 浮上濃縮機 (No.13) ○ 浮上濃縮機 (No.14) ○ 浮上濃縮機 (No.15) ○ 浮上濃縮機 (No.16) ○ 浮上濃縮機 (No.17) ○ 浮上濃縮機 (No.18) ○ 浮上濃縮機 (No.19) ○ 浮上濃縮機 (No.20) ○ 浮上濃縮機 (No.21) ○ 浮上濃縮機 (No.22) ○ 浮上濃縮機 (No.23) ○ 浮上濃縮機 (No.24) ○ 浮上濃縮機 (No.25) ○ 浮上濃縮機 (No.26) ○ 浮上濃縮機 (No.27) ○ 浮上濃縮機 (No.28) ○ 浮上濃縮機 (No.29) ○ 浮上濃縮機 (No.30) ○ 浮上濃縮機 (No.31) ○ 浮上濃縮機 (No.32) ○ 浮上濃縮機 (No.33) ○ 浮上濃縮機 (No.34) ○ 浮上濃縮機 (No.35) ○ 浮上濃縮機 (No.36) ○ 浮上濃縮機 (No.37) ○ 浮上濃縮機 (No.38) ○ 浮上濃縮機 (No.39) ○ 浮上濃縮機 (No.40) ○ 浮上濃縮機 (No.41) ○ 浮上濃縮機 (No.42) ○ 浮上濃縮機 (No.43) ○ 浮上濃縮機 (No.44) ○ 浮上濃縮機 (No.45) ○ 浮上濃縮機 (No.46) ○ 浮上濃縮機 (No.47) ○ 浮上濃縮機 (No.48) ○ 浮上濃縮機 (No.49) ○ 浮上濃縮機 (No.50) ○ 浮上濃縮機 (No.51) ○ 浮上濃縮機 (No.52) ○ 浮上濃縮機 (No.53) ○ 浮上濃縮機 (No.54) ○ 浮上濃縮機 (No.55) ○ 浮上濃縮機 (No.56) ○ 浮上濃縮機 (No.57) ○ 浮上濃縮機 (No.58) ○ 浮上濃縮機 (No.59) ○ 浮上濃縮機 (No.60) ○ 浮上濃縮機 (No.61) ○ 浮上濃縮機 (No.62) ○ 浮上濃縮機 (No.63) ○ 浮上濃縮機 (No.64) ○ 浮上濃縮機 (No.65) ○ 浮上濃縮機 (No.66) ○ 浮上濃縮機 (No.67) ○ 浮上濃縮機 (No.68) ○ 浮上濃縮機 (No.69) ○ 浮上濃縮機 (No.70) ○ 浮上濃縮機 (No.71) ○ 浮上濃縮機 (No.72) ○ 浮上濃縮機 (No.73) ○ 浮上濃縮機 (No.74) ○ 浮上濃縮機 (No.75) ○ 浮上濃縮機 (No.76) ○ 浮上濃縮機 (No.77) ○ 浮上濃縮機 (No.78) ○ 浮上濃縮機 (No.79) ○ 浮上濃縮機 (No.80) ○ 浮上濃縮機 (No.81) ○ 浮上濃縮機 (No.82) ○ 浮上濃縮機 (No.83) ○ 浮上濃縮機 (No.84) ○ 浮上濃縮機 (No.85) ○ 浮上濃縮機 (No.86) ○ 浮上濃縮機 (No.87) ○ 浮上濃縮機 (No.88) ○ 浮上濃縮機 (No.89) ○ 浮上濃縮機 (No.90) ○ 浮上濃縮機 (No.91) ○ 浮上濃縮機 (No.92) ○ 浮上濃縮機 (No.93) ○ 浮上濃縮機 (No.94) ○ 浮上濃縮機 (No.95) ○ 浮上濃縮機 (No.96) ○ 浮上濃縮機 (No.97) ○ 浮上濃縮機 (No.98) ○ 浮上濃縮機 (No.99) ○ 浮上濃縮機 (No.100)		

・見積様式にある項目のうち、図面に図示されるものを着色。修繕には図示されない部品も含まれます。



矢野龍溪



フード、サポートアングルの配置図



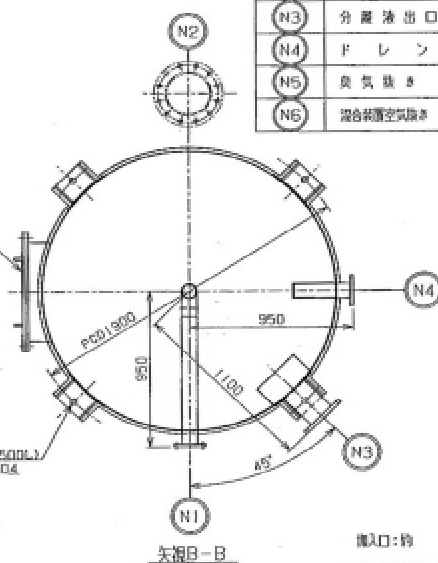
機器總重量：2300kg

長さ容せユニット回転数 $1.0 \text{ m} \cdot \text{min}^{-1}$

荷 号	部 品 名	材 質	数 量	備 考
1	浮上機本体	SUS304	1	副板 t4 底板 t5
2	架 台	SS400	1	
3	サイクロン集塵機	—	1	品名: CYVM05-K170DB-TL ~1479 D.4Kw 400V 50Hz
4	集塵機取付台	SUS304	1	
5	シャフト	SUS304	1	
6	ビローブロック	SUJ2 FC200	1	UCFC212
7	吸着ゼユニット副板板	SUS304	1	
8	吸着ゼユニット	SUS304	2個	
9	チェーン	SUS304	1個	J15 1#6D
10	引き板	SUS304 CR	2個	
11	センターコーン	SUS304	1	
12	吹 出 管	SUS304	1	
13	フ ェ ード	SUS304 アクリル	6 2	

ノズル表

N1	汚泥入口	80A J1610
N2	濃縮汚泥出口	250A J1610
N3	分離液出口	150A J1610
N4	ドレン	80A J1610
N5	臭気抜き	125A J165K
N6	混合装置空気抜き	25A ソケット



矢視日-B

施入口：約 90% H

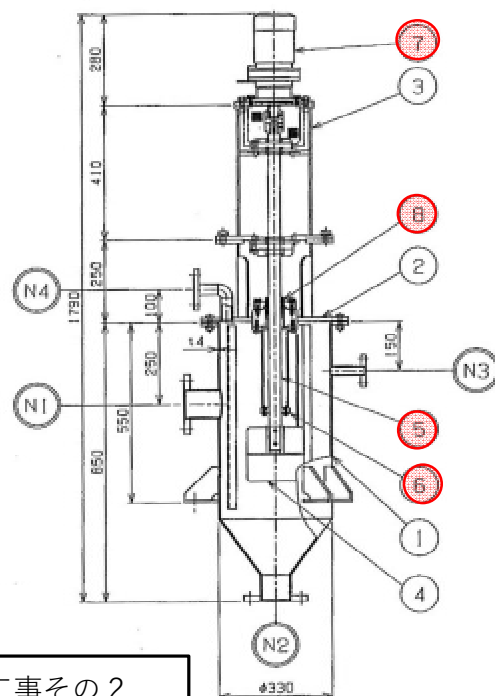
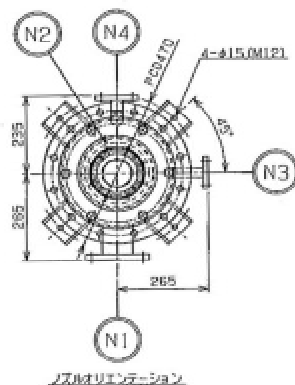
注記：洋上施設は分岐にて現地独立接続

大岩藤浄化センター機械設備修繕工事その2

No.1浮上濃縮機（浮上装置部）組立図

日本下水事業団 殿

店名 浮上装置組立園	名所 浮上装置
開業 1/20	所在地 A-101138-00
代表者 	役員 
株式会社 新菱エコビジネス	



・見積様式にある項目のうち、図面に図示されるものを着色。修繕には図示されない部品も含まれます。

ノズル表

N1	汚泥入口	80A J1S10K
N2	汚泥出口	80A J1S10K
N3	泥漿入口	20A J1S10K
N4	空気口	25A J1S10K

日本下水事業団 殿

6	メカニカルシール	SUS316	1個	FAIRVIEW CML-803MRP-WF233-1
7	サイクロン濾過機	—	1	BM D-2KH-125 J1COV-5016 ATWMS2-4055-31 200L用30分型
5	コーンパイプ	SUS304	1	
5	シャフト	SUS304	1	φ35
4	インペラ	SUS304	1	規格φ165
3	スベラパイプ	SUS304	1	
2	スタフィンボックス	SUS304	1	
1	混合装置本体	SUS304	1	
符号部品名材質数量備 考				

混合装置組立図		混合装置	
図面 1/10	図面 R-101136-00	波良瀬川下流流域下水道大岩藤浄化センター 汚泥処理設備工事その3	
図章	図章	株式会社新菱エコビジネス	

大岩藤浄化センター機械設備修繕工事その2
No.1浮上濃縮機（混合装置部）組立図

空転可
総設置質量：135kg

インペラ回転数 29min⁻¹

参 考 資 料

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数	公益財団法人とちぎ建設技術センター 実施設計書 当初 第 07-05-03 号 0		
適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	実施単価 栃木土木事務所管内 07.05.10(0)		
諸経費体系 ファイル名	下水道用設計標準歩掛表ー第2巻 ポンプ場・処理場ー 大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2		
	当 世 代		前 世 代
前払い率 工種 設計技術費 契約保証方法 週休二日補正区分 消費税の率	40% 機械設備 計上しない 金銭的保証(補正值0.04%適用) 補正なし 消費税等率10%適用		
		この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第一条にいう設計図書ではない。	

数量計算表

2ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2					
機器費					
常圧浮上機構成機器					
サイクロ減速機	CVVM05-6170B-EPTL-1479	台		1	
第一段シャフトホルダー部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
第一段シャフト	SUS304	個		1	
第一段シャフトホルダ	SUS304	個		1	
スプロケット押え板	SUS304	個		2	
ドライベアリング	テフロンコート	個		1	
軸用C型止輪	φ 85 SUS304CSP	個		2	
穴用C型止輪	φ 70 SUS304CSP	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6008 40.68.15	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6007 35.62.14	個		1	
オイルシール	NBR AG2674E0 VC 50.65.6	個		1	
オイルシール	NBR AG2835E0 VC 50.65.6	個		1	
第一段入力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT14	個		1	
第一段出力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT28	個		1	
緊張用シャフトホルダー部アッセンブリー	以下内訳	組		2	

数量計算表

3ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
緊張用シャフト	SUS304	個		1	
緊張用シャフトホルダ	SUS304	個		1	
緊張スプロケット押え板	SUS304	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6904 20.37.9	個		2	
オイルシール	NBR AG1311A0 20.40.5	個		2	
緊張用スプロケット	SUS304 JIS#60 NT12	個		1	
第二段シャフトホルダー部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
第二段シャフト	SUS304	個		1	
第二段シャフトホルダ	SUS304	個		1	
第二段シャフト蓋	SUS304	個		1	
スプロケット押え板	SUS304	個		1	
穴用C型止輪	φ 55 SUS304CSP	個		4	
ベアリング	SUJ2 #16006 30.55.9	個		1	
ベアリング	SUJ2 #6006 30.55.13	個		1	
オイルシール	NBR AG2079A0 VC 35.55.5	個		2	
オイルシール	NBR AE1676A0 VC 30.45.6	個		1	
第二段入力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT13	個		1	
第二段出力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT30	個		1	

数量計算表

4ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
アイドリング部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
アイドリングシャフト	SUS304	個		1	
アイドリングシャフト押え板	SUS304	個		1	
穴用C型止輪	φ 60 SUS304CSP	個		1	
穴用C型止輪	φ 55 SUS304CSP	個		1	
ベアリング	SUJ2 #16006 30.55.9	個		2	
オイルシール	NBR AG2102E0 35.60.5	個		2	
オイルシール	NBR AG2079A0 35.55.5	個		2	
アイドリングsprocket	SUS304 JIS#60 NT30	個		1	
K-1アタッチメント付きチェーン部アッセンブリー	以下内訳	組		2	
掻き寄せプレート	CR	個		1	
掻き寄せプレート取付板	SUS304	個		1	
押え板	SUS304	個		1	
K-1アタッチメント付きチェーン	SUS304 JIS#60 74リンク/組	個		1	
混合装置構成機器					
サイクロ減速機	CNVM02-6095-51 0.2kW×400V×50Hz	台		1	
工場製作労務費					
第一段シャフトホルダー部		組分		2	

数量計算表

5ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
緊張用シャフトホルダー部		組分		2	
第二段シャフトホルダー部		組分		2	
アイドリング部		組分		2	
K-1アタッチメント付きチェーン部		組分		2	
直接材料費					
材料費					
押しバネ		個		2	
中央チェーン		組		1	
増速チェーン		組		1	
ゴム板		個		2	
混合装置用部品					
シャフト	SUS304	本		1	
コーンパイプ	SUS304	枚		1	
軸受	MCナイロン	個		1	
本体パッキン	CR	枚		1	
カップリング	FC200	組		1	
パッキン	CR	枚		1	
ピローブロック	FC200/SUJ2	個		1	

数量計算表

6ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
ピローブロック	FC200/SUJ2	個		1	
メカニカルシール	SUS316/カーボンF90R	個		1	
複合工費					
現地補修塗装		式		1	
浮上装置内汚泥引抜・洗浄		式		1	
直接経費					
機械経費(積上分)					
トラッククレーン	2t吊り	日		5	
共通仮設費					
準備費(積上分)					
産業廃棄物処分費	浮上装置分	式		1	
産業廃棄物処分費	混合装置分	式		1	

公表単価一覧表

工事名

大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2

項 目	細別	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
【機器費】							
常圧浮上機構成機器							
サイクロ減速機	CVVM05-6170B-EPTL-1479	台	2,390,000			○	資材単価 特別調査
第一段シャフト	SUS304	個	84,100			○	
第一段シャフトホルダ	SUS304	個	277,000			○	
スプロケット押え板	SUS304	個	2,760			○	
ドライベアリング	テフロンコート	個	23,800			○	
軸用C型止輪	φ 85 SUS304CSP	個	11,000			○	
穴用C型止輪	φ 70 SUS304CSP	個	5,510			○	
ベアリング	SUJ2 #6008 40.68.15	個	3,640			○	
ベアリング	SUJ2 #6007 35.62.14	個	3,640			○	
オイルシール	NBR AG2674E0 VC 50.65.6	個	2,200			○	
オイルシール	NBR AG2835E0 VC 50.65.6	個	2,200			○	
第一段入力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT14	個	124,000			○	
第一段出力スプロケット	SUS304 JIS#60 NT28	個	742,000			○	
緊張用シャフト	SUS304	個	85,800			○	
緊張用シャフトホルダ	SUS304	個	679,000			○	
緊張スプロケット押え板	SUS304	個	25,500			○	
ベアリング	SUJ2 #6904 20.37.9	個	2,760			○	
オイルシール	NBR AG1311A0 20.40.5	個	1,860			○	
緊張用スプロケット	SUS304 JIS#60 NT12	個	235,000			○	
第二段シャフト	SUS304	個	65,800			○	
第二段シャフトホルダ	SUS304	個	1,424,000			○	
第二段シャフト蓋	SUS304	個	22,000			○	
スプロケット押え板	SUS304	個	1,860			○	
穴用C型止輪	φ 55 SUS304CSP	個	1,860			○	
ベアリング	SUJ2 #16006 30.55.9	個	4,570			○	
ベアリング	SUJ2 #6006 30.55.13	個	2,750			○	
オイルシール	NBR AG2079A0 VC 35.55.5	個	1,860			○	

公表単価一覧表

工事名

大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2

項 目	細別	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
オイルシール	NBR AE1676A0 VC 30.45.6	個	1,860			○	
第二段入力sprocket	SUS304 JIS#60 NT13	個	116,000			○	
第二段出力sprocket	SUS304 JIS#60 NT30	個	290,000			○	
アイドリングシャフト	SUS304	個	232,000			○	
アイドリングシャフト押え板	SUS304	個	25,500			○	
穴用C型止輪	φ 60 SUS304CSP	個	3,650			○	
穴用C型止輪	φ 55 SUS304CSP	個	1,860			○	
ベアリング	SUJ2 #16006 30.55.9	個	4,570			○	
オイルシール	NBR AG2102E0 35.60.5	個	1,860			○	
オイルシール	NBR AG2079A0 35.55.5	個	1,860			○	
アイドリングsprocket	SUS304 JIS#60 NT30	個	712,000			○	
掻き寄せプレート	CR	個	2,100			○	
掻き寄せプレート取付板	SUS304	個	10,600			○	
押え板	SUS304	個	2,100			○	
K-1アタッチメント付きチェーン	SUS304 JIS#60 74リンク/組	個	125,000			○	
混合装置構成機器							
サイクロ減速機	CNVM02-6095-51 0.2kW×400V×50Hz	台	483,000			○	
【工場製作費】							
第一段シャフトホルダー部		組分	96,100	○	○	○	
緊張用シャフトホルダー部		組分	76,900	○	○	○	
第二段シャフトホルダー部		組分	96,100	○	○	○	
アイドリング部		組分	76,900	○	○	○	
K-1アタッチメント付きチェーン部		組分	173,000	○	○	○	
【材料費】							
押レバネ		個	11,000			○	
中央チェーン		組	65,800			○	
増速チェーン		組	36,500			○	
ゴム板		個	11,000			○	
シャフト	SUS304	本	270,000			○	

公表単価一覧表

工事名

大岩藤浄化センター 機械設備修繕工事その2

項 目	細別	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
コーンパイプ	SUS304	枚	509,000			○	
軸受	MCナイロン	個	39,000			○	
本体パッキン	CR	枚	13,000			○	
カップリング	FC200	組	42,900			○	
パッキン	CR	枚	3,730			○	
ピローブロック	FC200/SUJ2	個	14,800			○	
ピローブロック	FC200/SUJ2	個	18,600			○	
メカニカルシール	SUS316/カーボンF90R	個	763,000			○	
【労務費】							
一般労務費	現地分解・設置・復旧作業	式	938,500		○		
機械設備据付労務費	現地分解・設置・復旧作業	式	1,727,100		○		
【複合工費】							
現地補修塗装		式	127,000	○	○	○	
浮上装置内汚泥引抜・洗浄		式	313,000	○	○	○	
【機械経費】							
トラッククレーン	2t吊り	日	15,200	○	○	○	
【準備費】							
産業廃棄物処分費	浮上装置分	式	58,200	○	○	○	
産業廃棄物処分費	混合装置分	式	31,000	○	○	○	

(備考)

- 1 本表に掲載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の単価を示す。
「機」機械器具等の損料または賃料
「労」労務費
「材」材料費